2014-2015 年度今治ロータリークラブ週報 No.20

第 ２０ 回 例 会 報 告（１１月２０日）

【 出　席　報　告 】
・会員数　５３名　・出席数　３２名　・欠席数　２１名
・当日出席率　６３．０４％　・前々回修正出席率　１００％
＜欠席会員＞原、平田、菅、木村、吉良、河野、桑森、松木、村上(修)、村上(裕)、大澤、岡本、竹田、渡邊、渡辺、吉田
〔免除会員〕青野(明)、原田、檜垣(巧)、宮本、白石
〈11/6 欠席補填〉(11/17 今治北)原、木原、木村、松木、森岡、村上(裕)、田中(良)

◇会長報告・繊維産業技術センター様を訪問しました。

職場訪問例会

◆吉武職業奉仕委員長:本日は、新しくなった繊維産業技術センター様を訪問させていただきました。この施設はロータリークラブメンバーも多く建設に携わらせていただきました。

◆技術支援室長　檜垣誠司様:愛媛県は、多種多様な企業が存在し、それぞれが優れた技術やポテンシャルを持っていることが最大の強みである。このため愛媛県産業技術研究所では、産学官の連携を図りながら、研究開発・技術支援・情報発信・人材育成などを効果的に推進し、企業の新技術や新製品の創出を支援することで、愛媛県経済の持続的な発展を目指しています。愛媛県の産業技術研究所には繊維産業技術センター、EV 開発センター、紙産業技術センター、窯業技術センター、食品産業技術センターと５つの研究施設があり、外部とのコーディネート機能を発揮し、幅広い支援を行っています。▼当繊維産業技術センターの理念は、愛媛県内におけるタオル・繊維産業の振興を図るため、製品・技術開発や新分野へのチャレンジを支援し、ライフスタイル提案型製品の開発を支援するとともに、技術面の人材育成や情報発信を通じたタオル・アパレル製品のイメージアップを図ることです。▼業務概要は①研究開発：県内中小企業の新製品・新技術開発を支援するため、実用化を目指した幅広い研究開発を行う。また、産学官連携による「共同研究」や、企業等から委託を受けて実施する「受託研究」にも取り組む。②技術相談・支援：技術的問題の相談や問い合わせに無料で応じ、また、必要に応じて現場での技術的支援も行う。③依頼試験・機器使用：県内企業からの技術相談に応じ、素材・製品に関する各種分析・試験の実施、機器・施設の開放（有料）などを行う。④情報発信：インターネットなどで、研究成果や先端技術などの最新情報を発信し、また、各種の講習会も開催する。⑤人材育成：最近では人材不足もあり、研修生の受け入れをはじめ、技術者研修などを実施する。

◆施設見学:常に一定温度を保つ恒温恒湿室、その反対に温度-10℃～50℃、湿度 20%～90%までの環境変化に対応できる環境試験室、全国の公設試験研究機関の資料や参考文献が閲覧できるレファレンス室など色々な研究室を見学させていただいた。最後に火災時に使用する火災非難用水タオルというアイデア商品や、今治で綿から作った２万円もするというプラチナタオルには驚いた。触ってみると今まで感じたことのない手触りであった。繊維産業技術センターの皆様、お忙しい中御協力していただきありがとうございました。

＜ゲスト＞繊維産業技術センター技術支援室長　檜垣誠司様

次 回 例 会（１１月２７日）

【　ガバナー補佐クラブ訪問 】
※例会終了後クラブ協議会を予定しています。
＜配偶者誕生祝＞　森岡　研二氏（12/1）
＜結婚記念日祝＞　矢野　暢生氏（11/29）
＜入会記念日祝＞　久米　　操氏（12/2）
〔　健寿司　〕